

「今」と「未来」のために、今私たちができること [目標13] 気候変動に具体的な対策を

エス・ディー・ジーズ



カーボンニュートラル

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること

大仙市は、2050年のカーボンニュートラルを目指しています。

「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

世界では、干ばつや大雨による洪水などの自然災害が多発しています。こうした災害は、私たちの暮らしや経済活動などで排出される温室効果ガスの増加がもたらす、地球温暖化が原因といわれています。

日本でも集中豪雨や大型台風、猛暑、大雪などが多発しており、ライフラインや食料生産など、私たちの生活に深刻な影響を及ぼし始めています。このままでは、地球温暖化がさらに進み、生命に関わるような深刻な状況に発展するおそれがあります。

省エネや大量消費・廃棄の抑制、再生可能エネルギーの利用など、これまでの生活の見直しや、環境負荷の少ない生活スタイルへの転換により、できるだけ二酸化炭素を排出しないよう、一人一人が日々の生活の中で心掛けていくことが重要です。

日常生活でできる取り組み

- 節電などの省エネを心掛ける
- 公共交通機関や自転車、徒歩で出掛ける
- クールビズやウォームビズの推進
- 再生可能エネルギーを利用する
- 次世代自動車（電気自動車など）に乗り換える

市の取り組み

- 2050年までのカーボンニュートラル実現を目指して「ゼロカーボンシティ宣言」を表明
 - ・再生可能エネルギーの導入促進
 - ・次世代自動車の導入
 - ・公共施設等の省エネ化
 - ・廃棄物の減量化など